

鳥獣被害を防ぐために ～みんなができる鳥獣害対策～



産業部 農林振興課
995-1823

近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しています。市内でもイノシシやシカ、サルなどによる農作物被害が数多く報告されています。市では、有害鳥獣捕獲やパトロールなどを行っていますが、野生鳥獣から農作物を守るためには、動物たちが集落や農地に集まる要因をなくす防除対策も重要です。

鳥獣被害の原因は「エサ」と「人馴れ」です。地域全体で共通の意識を持ち、野生鳥獣を寄せ付けない環境づくりに、地域ぐるみで取り組みましょう。



●集落にエサ場を作っていないですか？

動物に食べられても人間が気にしないエサ（怒られないエサ）を放置すると、動物たちを集落に引き寄せ、被害を激化させる原因となってしまいます。



ハクビシンによる放任果樹の食害

- ①収穫しないと決めた野菜などは、埋めるかコンポストを活用し、すぐに処分しましょう。
- ②植えたまま収穫していない果樹は、果実を処分するか樹を伐採しましょう。また、落果した果実も除去しましょう。
- ③稲刈り後の雑草やヒコバエは刈り取るか、すき込みしましょう。
- ④冬にあぜなどに青々とした雑草を生やすと、シカのエサになってしまいます。秋には草刈りせず放置し、冬枯れさせましょう。
- ⑤お墓のお供え物はお参りが済んだら持ち帰りましょう。

●動物たちを見ても「かわいい」「珍しい」と見過ごしていませんか？

追い払わずにいると、動物たちは人馴れしてどんどん人間の活動領域に足を踏み入れてきます。動物に人間を怖いと思わせ、人の活動領域へ寄せ付けないことが大切です。

- 野生動物を見かけたら、被害に直接関係ない人も含め、すぐに追い払いましょう。
- 野生動物の餌付けは絶対にやめましょう。



イノシシの足跡



人里に下りてきたシカ